

紙の上のいきものたち！！



【展覧会概要】

古くから人間は動物や植物、虫などのいきものを版画であらわしてきました。紙の上で新たな命を与えられたこれらの生きとし生けるものは、人間を映し出す鏡といえるかもしれません。たとえば写實的に描かれた植物からは、科学的な考えやまなざしが芽生えたことがうかがえます。また動物の姿を借りた寓話は、人間の愚かさや滑稽さを教えてくれるものです。一方で、現代の版画家たちが魅力あふれる生命を表現しつづけていることも忘れてはならないでしょう。

本展では身近なものから遠い異国のものまで、多種多様ないきものが息づく約120点の版画を展示。植物から作られた町田産の色材を用いた若手作家の版画も紹介します。いきものの様々なすがた・かたちを通じて、自然がもたらす楽しみと恵みをご堪能ください。

【会期】 2017年7月29日(土)～9月24日(日) 50日間
月曜休館 ※9月18日(月・祝)は開館、翌9月19日(火)は閉館

【開場時間】 平日 10:00～17:00 土日祝 10:00～17:30
※いずれも入場は閉場の30分前まで

【会場】 町田市立国際版画美術館 企画展示室1

【観覧料】 一般:600(500)円／大学・高校生と65歳以上:300(200)円／中学生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金 ※展覧会初日7月29日(土)は入場無料
※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

【主催】 町田市立国際版画美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会

【協賛】 ライオン 大日本印刷 損保ジャパン日本興亜 日本テレビ放送網

【協力】 町田市大賀藕絲館 クラフト工房 La Mano

【展示構成】

第一章 いきものを版画にすること

15世紀の西洋の草本誌や多種多様ないきものが収められた博物誌などを紹介します。



ロバート・ジョン・ソーントン編
『フローラの神殿』より
「エジプト・ハス」
1804年(1798~1807年刊)
銅版、手彩色 458×377mm
町田市立国際版画美術館蔵

幕間 あなたは犬派？それとも猫派？

版画にあらわされた犬と猫のさまざまな姿を紹介します。



ヴェンツェル・ホラー
「猫の頭部」
1646年 エッチング 133×180mm
町田市立国際版画美術館蔵

第二章 物語のなかのいきものたち

聖書の説話やイソップ寓話、子供向けの絵本のなかに登場するいきものを紹介します。



『イエスの生涯注解』より
「エヴァの創造」(部分)
ウルムで1478年頃刊
版元:ヨハン・ツァイナー
木版、手彩色 約255×190mm
町田市立国際版画美術館蔵

第三章 身近ないきものたち—アートのなか・生活のなか

いきものをテーマにした現代の版画家の作品や、町田でつくられた色材を用いた染色品や版画を紹介します。



竹上妙
「となりの柿はあかい」
2012年 木版 350×450mm
作家蔵

【関連催事】

- ◆びじゅつかん探検ツアー：普段は入ることのできない美術館の裏側を探検します。
日時：①8月5日(土) ②8月19日(土) 各日 10:30~12:00
*事前申込制、先着20名 *対象:小学校1~6年生(保護者同伴可)
*詳細や申込方法は後日、当館HPに掲載します。
- ◆ギャラリートーク：各日 14:00 から 45分程度
館長 9月10日(日)
担当学芸員 8月6日、20日、9月3日、17日(日)
*観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室1の入口にお集まりください。
- ◆プロムナード・コンサート：演奏者、曲目等は美術館HPをご覧ください。
9月9日(土) ①13:00~、②15:00~(各回30分程度)
会場:エントランスホール
*どなたでもご鑑賞いただけます。*座席のご用意はありません。

【同時開催】

- 企画展示室2 (7/29~9/24)
インプリントまちだ展 2017 *「紙の上のいきものたち!!」展の観覧料でご覧いただけます。
「絵描き・ながさわたかひろ、サッカー・FC町田ゼルビアでブレイク刷ルー!」
- 常設展示室 (6/21~9/24)
「シリーズ現代の作家 船坂芳助」 *入場無料

【問い合わせ】

町田市立国際版画美術館 担当学芸員:藤村拓也
〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1
[TEL] 042-726-2771/0860 [FAX] 042-726-2840
[E-mail] bunspo040_03@city.machida.tokyo.jp [美術館HP]http://hanga-museum.jp/

【展示構成】に掲載した画像は広報にお使いいただけます。ご希望の方は件名に「紙の上のいきものたち広報画像」と明記し、上記E-mailまでご連絡ください。また読者プレゼント用などで招待券を希望される場合はご相談ください。